

九州ラグビーフットボール協会会長・森重隆氏、

2019年W杯日本へパッションで人気定着を

産経新聞 9月30日(水)7時55分配信



(写真：産経新聞)

九州・沖縄の468チームが所属する九州ラグビーフットボール協会の会長に、全盛期の新日鉄釜石や日本代表の主将を務めた森重隆氏（63）が今年7月、就任した。ラグビーワールドカップ（W杯）イングランド大会を現地で観戦し、今月19日の南アフリカ戦勝利を見届けた愛称「ヒゲモリ」は、九州も舞台となる2019年W杯に向けて「英国での熱狂を九州で再現する」と意気込んだ。（九州総局 奥原慎平）

ゴルフ仲間や明治大ラグビー部後輩と南ア、スコットランド戦を観戦しました。南ア戦勝利の瞬間、目の前で起きたことが信じられなかった。生きているうちに、南アに勝利するなんて思わなかった。大声援の中、もう涙、涙ですよ。「ホテルで寝とく」と言っていたラグビーを知らない友人も一緒に泣いた。

3点差のついた最終盤、南アの反則に同点狙いのペナルティーゴール（3点）かと思っ
たが、日本は（成功率は低くても逆転可能な）スクラムを選択し、見事逆転した。勝利へ
の執念はすごかった。

あの試合をテレビで見て、ラグビーに興味を持った人は多いでしょう。このラグビー熱、
そして紳士のスポーツであるラグビー文化を、どう継続して九州に根付かせていくか。2
019年に向けた課題です。

幸い、九州は福岡や長崎をはじめ、就学前から通えるラグビースクールが多い。ラグビ
ーの面白さ、つらさを指導する教育者もそろっている。

あとは、九州にも花園（大阪）や秩父宮（東京）のようなラグビー専用競技場がほし
い。（ここ8年で5回の優勝を果たした）東福岡高校のように、競技レベルが高いんだか
ら、行政にはぜひ、実現してもらいたい。

W杯の開催都市には福岡、熊本、大分が選ばれている。九州協会のトップとして、福岡会
場のレベルファイブスタジアムなどを満員にするのは当然。ファンを増やして、地域が一
丸となって応援する空気を作ります。今後、行政関係者や商工会議所のメンバーらと具
体的な計画を練ります。

行政のトップを本気にさせるのも僕の役割です。

福岡県知事の小川洋氏は南ア戦の後、「最高のゲームでした。感動しました」と僕にメー

ルを送るほどのラグビー好きです。

福岡市長の高島宗一郎氏にも今日（29日）面会して、協力を訴えまし

課題は何といても、九州協会に金がないことです。関東や関西の協会に頭が上がり。

ラグビー日本協会の関係者に「福岡で（8月22日に）開催したウルグアイ戦は1万人を

超えたよ」と自慢したら、「秩父宮のウルグアイ戦も1万人行きましたよ」と返されまし

た。当然ですよ。だって、東京は人口が多いし、人気チームも多いんだから（笑い）

ただ、こんな風に冗談めかして、関東や関西の協会に言いたいことを言える人間は僕くら

いでしょ。それも九州協会の会長選出の理由だと分かっています。

日本協会の副会長にも就きました。今年3月、日本協会で、前会長の森喜朗・元首相から

就任を求められた。

「九州協会長になるんです」と断ったけど、「地域の協会が連携しなければいけない。そ

のためには関東か関西、九州の協会長が、（日本協会副会長に）なることになっているん

だ」「（そうだっけな？）」「今、俺が決めたんだ」。強引ですね（笑い）。

僕はラグビーでもなんでも理論ではなく「気持ち！ とにかく気合！」というタイプで

す。パッション（情熱）を持って、会長職を務めていきます